

第13回 9月26日（木）13:00～14:30

**「学び」を支えてきた
津田塾大学さくらんぼ保育所**
～授業「フィールドワークの実践c」における
インタビューリサーチより～



吉朝加奈氏

東邦大学准教授、津田塾大学非常勤講師

会場：津田塾大学小平キャンパス本館H315、5号館5101

<講師プロフィール>

東邦大学看護学部准教授（共通教育機構併任）、博士（国際関係学）。

津田塾大学学芸学部国際関係学科卒業後、株式会社リクルートを経て、津田塾大学大学院国際関係学研究科に進学。大学院時代は、さくらんぼ保育所と教職員他多くの方に支えられて、2人の子を育てながら学びを継続した。国際関係学科助教を経て、現職。現在、津田塾大学では非常勤講師として「女性学」「フィールドワークの実践」「ジェンダーと健康」などを担当している。「総合」スタッフ経験者。

<担当スタッフより>

今回の講演では、多くの人の学びを支えてきた津田塾大学「さくらんぼ保育所」についてお話しいただきます。残念ながら「さくらんぼ保育所」はコロナ禍で閉園してしまいましたが、たくさん子どもたちがこの保育所から巣立ち、たくさんの親の学びや仕事を支えてきました。この「さくらんぼ保育所」を軸として、津田塾大学の教員の方や「さくらんぼ保育所」に子どもを預けたことのある方へのインタビューやフィールドワークの経験を元に、学びを支えるということについて考えていきます。

皆さんは「学び」についてどのように考えますか？現在は大学や大学院に通う人も増え、多くの人が学べるようになりました。では、私たちはこれからどのようにして「学び」を獲得していくのでしょうか。出産や育児を理由に、学ぶことを諦めてしまう人はとても多いです。学びたいという意欲を持った全ての人の「学び」を守るために、子どもを預かる場というのは必要不可欠であるといえます。この機会に、ぜひご自身の「学び」について考えてみてください。

共催：FD「女性の学業・研究・キャリア支援と保育について考える授業実践
一学内保育所に関する学びを事例として」